

令和4年8月29日

組合長・特別会員 様

小田原食品衛生協会長

かながわ BA.5 対策強化宣言の延長に係るご協力をお願いについて

当協会の事業運営につきましては、日ごろからご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記のことについて、(公社)神奈川県食品衛生協会を通じて神奈川県知事から次のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴組合員並びに従業員へ次の事項の周知方よろしくお願いいたします。

- 令和4年8月2日から8月31日までとしていた「かながわ BA.5 対策強化宣言」を9月30日まで延長する。
- 引き続き、適切なマスクの着用や、効果的な換気等の基本的感染防止対策の徹底を行うこと。
- 従事者の感染が疑われる場合は、重点観察対象者を除き、「自主療養届出制度」の活用を促すこと。また、この制度による届出を受けた場合は、証明のために医療機関へ行くことを求めず、休暇を認めること。
- その他別添「第65回新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部会議資料(抜粋)」に従うこと。

知事メッセージ

3年ぶりの行動制限のない夏休みももうすぐ終わりです。

本県の新型コロナの新規感染者は、やや減少傾向にあるものの、未だに1万人前後で高止まりしており、発熱外来など医療体制がひっ迫した状態は、依然として深刻です。

そこで、本日、県は、8月2日から今月31日までとしていた、「かながわBA.5対策強化宣言」を、9月30日まで延長することとしました。

学校では2学期が始まります。県民の皆さんには、引き続き、家庭でも、学校でも、職場でも、適切なマスクの着用や、効果的な換気等の、基本的感染防止対策の徹底をお願いします。

また、ワクチンは感染予防や重症化予防に効果があることが示されています。若い方は3回目接種を、高齢者など条件を満たした方は4回目接種を、積極的にご検討ください。

さらに、発熱外来や病床への負担を減らすため、重点観察対象者を除き、セルフテストによる自主療養届出制度の一層の活用をお願いします。

県は、引き続き、必要な人に適切な医療が提供できる体制の確保に全力で取り組みます。

この難局を、県の総力を挙げて乗り切れるよう、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

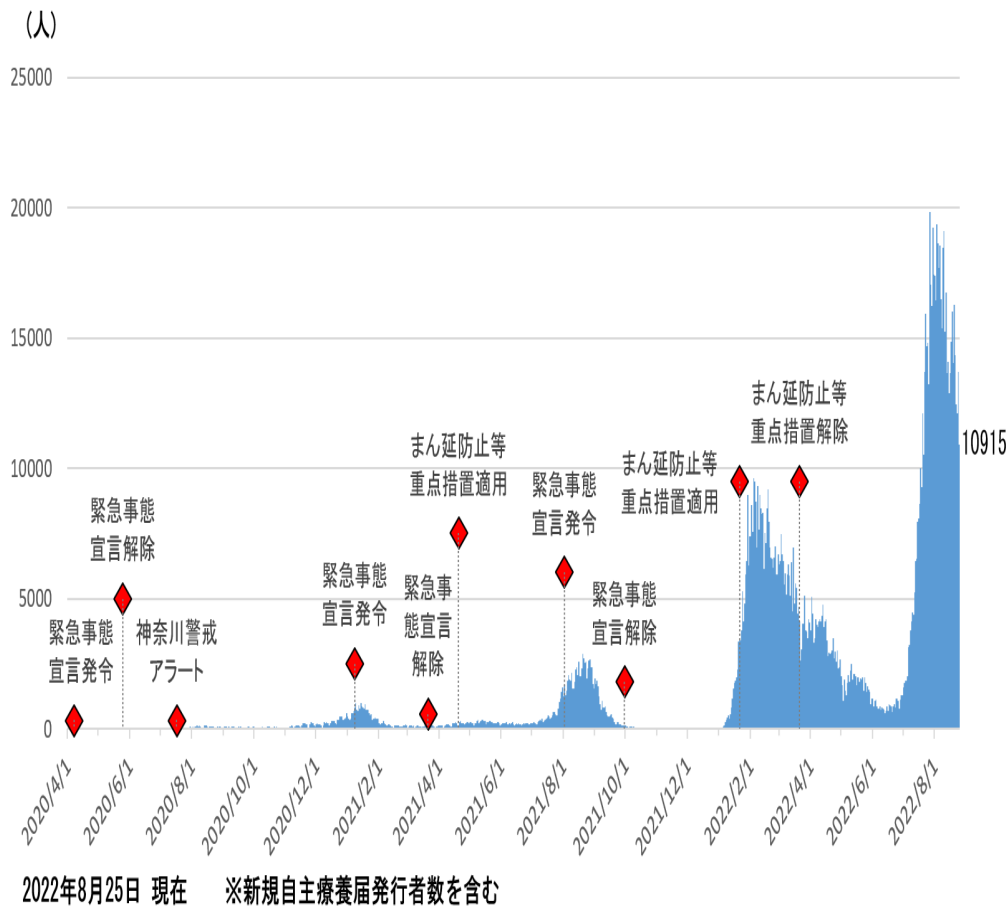
令和4年8月26日

神奈川県知事 黒岩 祐治

「BA.5対策強化宣言」を踏まえた 県の取組について

令和4年8月26日

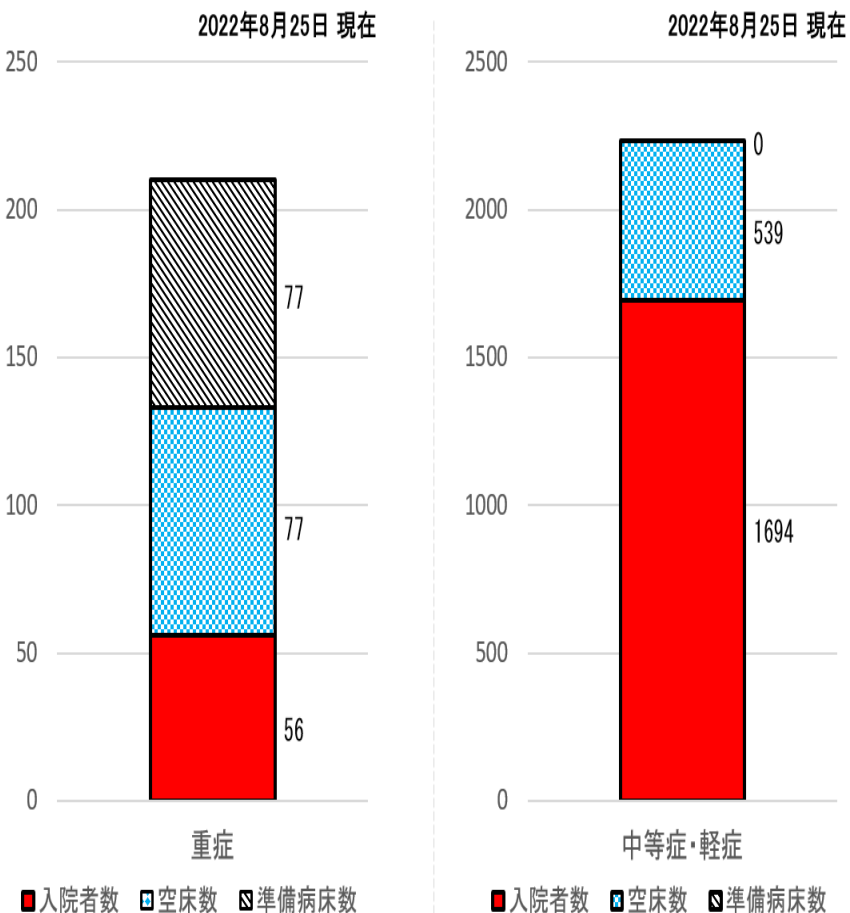
新規感染者（新規自主療養届発行者数を含む）の推移（実数・日別）



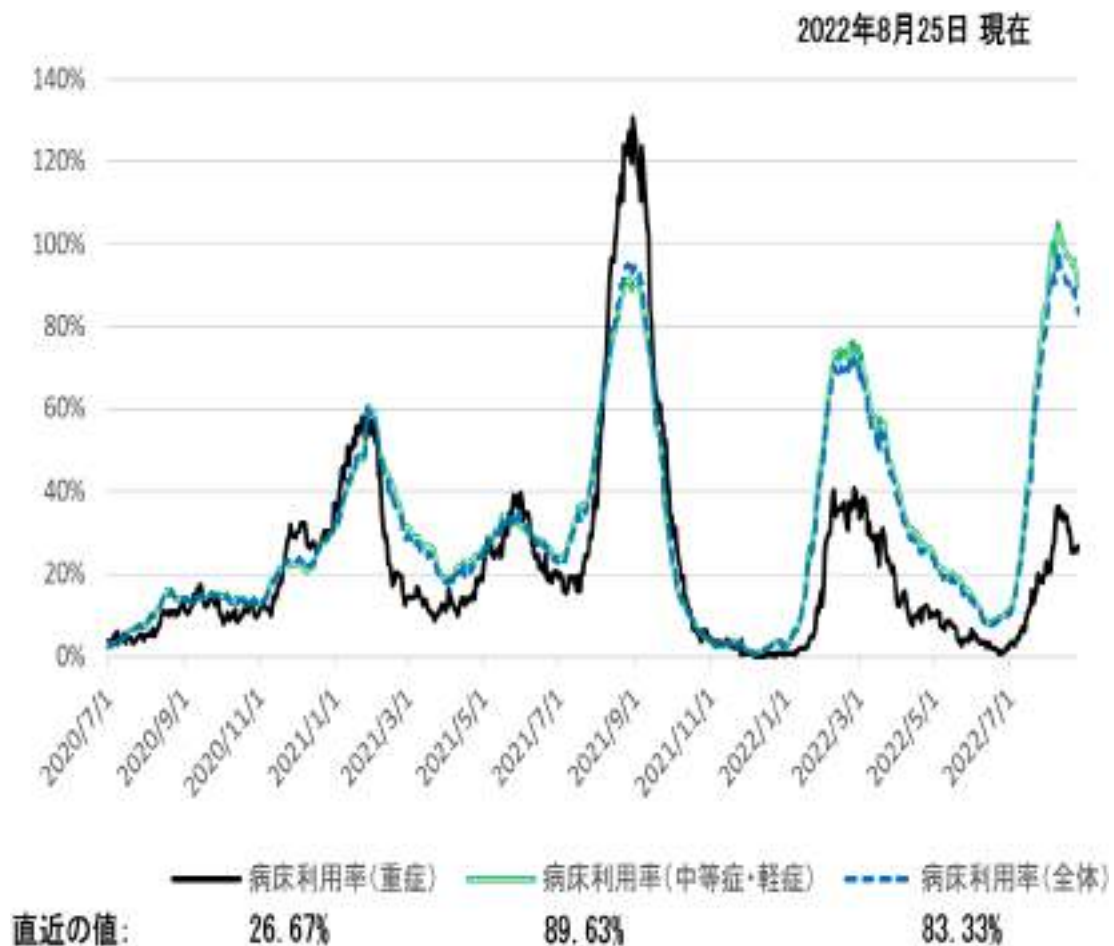
	日	月	火	水	木	金	土	
6月	26	27	28	29	30	7/1	2	週合計
	1090人	787人	1138人	1297人	1286人	1584人	1782人	8964人
7月	3	4	5	6	7	8	9	週合計
	1868人	1871人	2011人	3159人	3234人	3792人	4116人	20051人
	10	11	12	13	14	15	16	週合計
	4475人	4403人	5260人	6431人	6544人	7948人	8091人	43152人
	17	18	19	20	21	22	23	週合計
	8618人	10013人	9260人	12098人	10528人	13684人	15911人	80112人
	24	25	26	27	28	29	30	週合計
	14699人	14825人	13243人	19819人	17024人	16247人	19245人	115102人
	31	8/1	2	3	4	5	6	週合計
	17420人	17369人	16463人	19368人	18627人	17685人	18550人	125482人
8月	7	8	9	10	11	12	13	週合計
	16476人	15368人	18463人	19098人	15254人	16755人	13667人	115081人
	14	15	16	17	18	19	20	週合計
	14077人	12878人	13644人	14877人	15998人	14047人	16262人	101783人
	21	22	23	24	25	26	27	
	14346人	12457人	12098人	13703人	10915人			
※新規感染者数（新規自主療養届発行者数を含む）								

病床利用率

■ 病床利用率



■ 病床利用率の推移（確保病床ベース）



【参考】即応病床数総計：2,366床

国の「BA.5対策強化宣言」の要件

- ① **病床使用率が概ね50%超**又は昨冬のピーク時を超える場合 かつ
- ② 入院患者が**概ね中等症以上等の入院医療を必要とする**場合

「かながわBA.5対策強化宣言」(8/2～8/31)の延長

新規感染者数、病床利用率とも高止まりしており、対策強化宣言の要件も満たす状況にあることから、**宣言の期間を9月30日(金)まで延長**することとしたい。

宣言の内容は現行のものを継続

但し、今後の感染状況や医療体制の状況等により、期間、内容を必要に応じて見直す。

かながわBA. 5対策強化宣言

適用期間 令和4年8月2日(火)～令和4年9月30日(金)

かながわBA. 5対策強化宣言

8月2日（火）～ 9月30日（金）

県民向け

1 一人ひとりが徹底用心

(1) 県民への要請(法24条9項)

○M・A・S・Kなど基本的な感染防止対策の再徹底

- ・ 適切なマスクの着用、三密の回避、手洗い等の手指衛生、効果的な換気等
- ・ 会食の際は、短時間、少人数で、マスク飲食の実践

○高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクの高い方を感染から守る対策の徹底

- ・ 高齢者や基礎疾患のある方や同居家族は家庭内でもマスク着用などの「うつさない、うつらない」対策の実施

○マスク飲食実施店の利用

(2) 法によらない働きかけ

○ワクチンの3回目接種、4回目接種の積極的な検討

○感染時の「自主療養届出制度」の活用にあつた抗原検査キットや食料等の備蓄

2 セルフテストと自主療養

○体調に異変を感じたら抗原検査キットによるセルフテスト(法によらない働きかけ)

○感染した場合はハイリスク者以外の方は「自主療養届出制度」を第一の選択肢に(法によらない働きかけ)

かながわBA. 5対策強化宣言

8月2日（火）～ 9月30日（金）

事業者向け

飲食店等

1 協力要請(法第24条第9項)

- 短時間、少人数、マスク飲食などの感染防止対策の推奨
- 飲食店等での感染対策の強化、特に換気とマスクの適切な着用・マスク飲食
- 業種別ガイドライン遵守

2 法によらない働きかけ

- マスク飲食実施店認証制度の取組の継続

大規模
集客施設等

協力要請(法第24条第9項)

- 人が集まる場所での感染対策の徹底
 - ・従業員への検査の勧奨
 - ・適切な換気
 - ・手指消毒設備の設置
 - ・入場者の整理・誘導
 - ・発熱者等の入場禁止
 - ・入場者へのマスクの着用等の周知
- 業種別ガイドライン遵守

かながわBA. 5対策強化宣言

8月2日（火）～ 9月30日（金）

事業者向け

イベント

○次の人数上限を遵守(法第24条第9項)

大声 ※1	区分 ・安全計画策定 ・チェックリスト公表	5,000人以下 の施設	5,000人超～ 10,000人以下の 施設	10,000人超の 施設
あり	チェックリスト公表	収容定員の半分まで可		
なし	チェックリスト公表 (安全計画なし)	収容定員 まで可	5,000人まで可	収容定員の 半分まで可
	安全計画策定 ※2		収容定員まで可	

※1 大声の定義「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」

※2 ・安全計画を策定しない場合は、チェックリストの公表が必要
・安全計画の策定は、「大声なし」の担保が前提

○感染防止対策の徹底(法第24条第9項)

○業種別ガイドライン遵守(法第24条第9項)

その他①

【事業者全般に対して①】

- 職場における感染防止のための取組(テレビ会議の活用等)(働きかけ)
- 在宅勤務(テレワーク)等の推進(働きかけ)
- 業種別ガイドライン遵守(法第24条第9項)

【事業者全般に対して②】

- 従業員や児童生徒等から「自主療養届出制度」の届出を受けた場合、証明のための医療機関の受診を求めず、休暇を認める。(働きかけ)

その他②

【高齢者施設、学校・保育所等の感染対策強化】

- 高齢者施設における入所者・従事者のワクチン4回目接種の促進(働きかけ)
- 高齢者施設の入所者・従事者や保育士・教職員等の体調異変時のセルフテストの推進(法第24条第9項)
- 高齢者施設や学校・保育所等における抗原検査キットの備蓄促進(働きかけ)
- 高齢者施設での基本的感染対策に配慮した面会の推進(法第24条第9項)
- 学校での部活動や課外授業等における感染リスクの高い活動に関する工夫(法第24条第9項) 等

その他県の取組

【病床、診療・検査医療機関のひっ迫回避に向けた対応】

1. 病床のひっ迫回避に向けた対応
 - 病床確保フェーズの適切な運用
 - コロナ入院対応を行ってこなかった病院の病床確保の協力の働きかけ
 - コロナ患者の外来を受け入れてこなかった医療機関の発熱等外来患者の受入協力
2. 発熱外来のひっ迫回避に向けた対応
 - 自主療養届出制度の更なる活用
 - 事業者に対し、従業員や児童生徒等から「自主療養届出制度」の届出を受けた場合、証明のための医療機関の受診を求めず、休暇を認めるよう働きかけ
3. 自主療養届出制度を活用しても、保険金請求が可能であることを周知
4. コロナ119番の運用体制充実
5. 抗原検査キットの配布体制の構築
6. ワクチンの3回目接種、4回目接種の推進

【かながわ旅割】

- 感染症対策の基準となるレベルは2を継続し、社会経済活動との両立の観点から「かながわ旅割」事業は継続